

魅力ある活動で仲間の輪を広げよう

ゆうゆう甲賀

2013.8 第17号

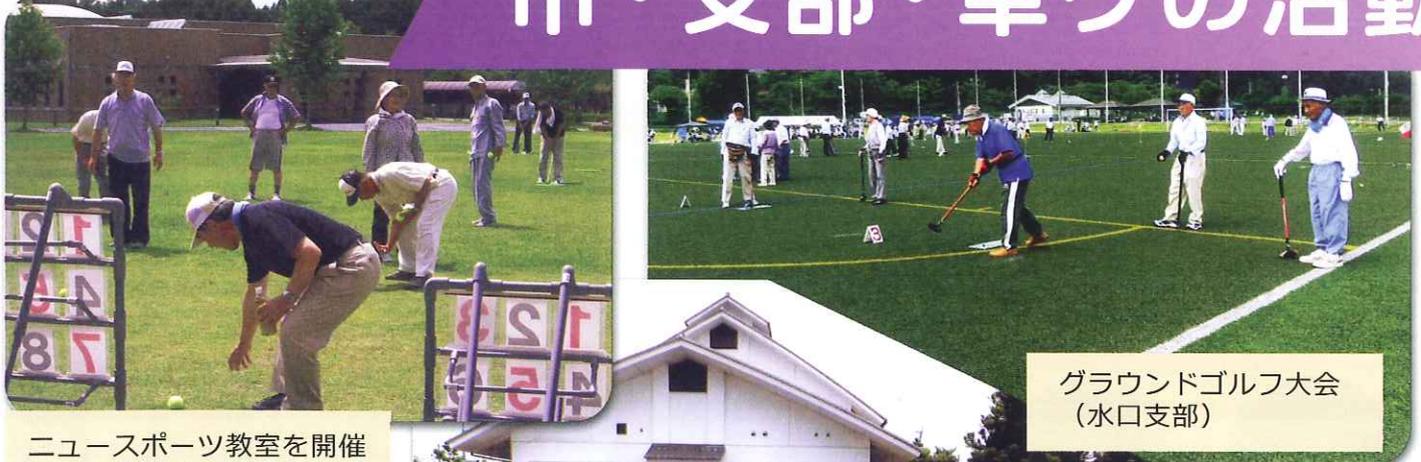
発行者：ゆうゆう甲賀クラブ TEL：0748-62-6842 FAX：0748-62-6096
〒528-0051 滋賀県甲賀市水口町北内貴307番地 老人福祉センター碧水荘内



健康セミナーを開催
(ゆうゆう甲賀クラブ)

会員増目標達成クラブに
感謝状贈呈
(ゆうゆう甲賀クラブ)

市・支部・単々の活動



ニュースポーツ教室を開催
ヒットだ！ターゲット
(甲賀支部)

グラウンドゴルフ大会
(水口支部)

46名の女性会員が友愛訪
問時のプレゼント作り
「カエルの小物カゴ」
(土山支部)



延寿会理事研修会
近江商人発祥の地
てんびんの里散策
(甲南支部)



ニュースポーツ（スカット
ボール）で介護予防
(信楽支部)

ごあいさつ



甲賀市長
中嶋 武嗣

ここに広報「ゆうゆう甲賀」が発行されますことを心からお喜び申し上げます。

平素、会員の皆様には、諸活動を通じ、市政全般に渡って格別のご厚情を賜り、厚くお礼申しあげます。

本年は、歴史ある老人クラブ連合会から「ゆうゆう甲賀クラブ」と名称を改正されました。こうした改革が新しい高齢者文化の発信の第一歩となり、さらに魅力ある活動の輪を広げられますことと期待しております。

甲賀市では、市民の皆様への命と暮らしを守ることを何よりも大切なことと考え、長寿であることをお互いが喜び合える社会づくりに全

力を挙げて取り組んでおります。中でも、地域の課題として高齢者の安全をテーマに取り上げ、会員の皆様にもご協力をいただきながら、世界に誇れる安全なまちづくりを進めたいと思っております。

こうした取り組みを進めることで、「生まれてよし」「生きてよし」「住んでよし」と、困った時には助けあえる人間愛に満ち溢れた理想郷・甲賀の実現を目指してまいります。

結びに、ゆうゆう甲賀クラブの更なるご発展と、会員皆様のご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げます。



若さで生き甲斐を



ゆうゆう甲賀クラブ
会長
堤 英隆

今高齢者は増える一方で、クラブの会員数は減少傾向にあります。その高齢社会を憂うべき世代とするか、輝かしい長寿の世代として歴史に刻んでいくかは、今の私達高齢者の有り方そのものが決定づけていくものだと思えます。

若さを保ち続けるうえで「生き甲斐」を持ち続けることほど重要な事はありません。

「生き甲斐」とは達成感、有用感の二つの要素から成り立っており、有用感とは、「自分が他人のために役立っている」と感じられる感覚です。

ゆうゆう甲賀クラブに入して、他人に役立つ事が自らの生き甲斐として、達成感を味わっていただきたいと思います。

副会長紹介(敬称略)



女性部長
奥嶋 弥生
(甲賀支部)



文化部長
寺田 督男
(信楽支部)



吉川 隆夫
(甲南支部)



広報部長
北澤 幸七
(甲賀支部)



交通安全奉仕部長
中森 武
(土山支部)



体育部長
宮路 勇
(水口支部)

新しい時代に即応した、みんなが楽しく喜んで参加していくために、本年度から甲賀市老人クラブ連合会を『ゆうゆう甲賀クラブ』に名称変更しました。皆さまに親しみ、愛されるクラブとなりますよう、ご支援をお願いいたします。



ゆうゆう甲賀クラブの動き

5/9 会名称を改正
第9回総会開く

135名参加
碧水ホール

総会は、議長に信楽支部田中正臣氏を選出して開会。総会の議決機関の変更や会名称の改正、それらに伴う規約・規程の改正等を審議いただき、新役員の選任も含めた全ての議案が承認されました。



総会での会長あいさつ

この席で、会員加入増の目標を達成された12単位クラブに、ご努力に対し感謝状を贈呈しました。

感謝状贈呈単位クラブ

- 〔水口支部〕 古城が丘老人会
- 松尾団地松風会
- 下山老人クラブ
- 〔土山支部〕 新里老人クラブ
- 今宿老人クラブ
- 〔甲賀支部〕 拝坂老人クラブ
- 鳥居野老人クラブ
- 隠岐老人クラブ
- 〔甲南支部〕 森尻延寿クラブ
- 〔信楽支部〕 中部光寿会
- 畑深交会
- 西紫雲会

サークルだより
信楽町でゴルフコンペ

4月22日、63名が参加して、メイプルヒルズゴルフ倶楽部でコンペを行いました。



- 優勝 近藤敏雄氏 (甲南支部)
- 準優勝 中夜 積氏 (甲南支部)
- 第三位 林 博止氏 (甲南支部)

7/30 クラブ大会
指導者研修会を開催

249名が集う
忍の里プラザ

大会は、来賓5名を迎え盛大に挙行。会長表彰(13名)と花束贈呈(3名)を行いました。



会長表彰

ゆうゆう甲賀クラブ会長表彰

被表彰者(敬称略)

- クラブ育成功労者
- 山田伊三雄 (水口支部)
- 加賀井正男 (水口支部)
- 北岡 義造 (土山支部)
- 富田 昌俊 (甲賀支部)
- 池田 賢三 (甲南支部)
- 藪田 武繁 (甲南支部)
- 松本 節子 (甲南支部)
- 黄瀬伊代治 (信楽支部)
- 山田 照 (信楽支部)

優良クラブ

- 東野福寿会 (土山支部)
- 篤行者
- 細見 幸博 (水口支部)
- 森本 源一 (土山支部)
- 馬場ツタエ (土山支部)
- 花束被贈呈者
- 平成24年叙勲受章者
- 太田 正 (水口支部)
- 清水 勲 (甲賀支部)
- 杉本 喜六 (信楽支部)

大会終了後、指導者研修会を行い、待(まつ)コミユニケーションより、詐欺の種類と手口を学びました。

ゆうゆう甲賀塾開講

7/3

第1講座 市政と生きがい
地域づくりを学ぶ

89名が受講
共同福祉施設



中嶋甲賀市長の講演

中嶋市長から「理想郷・甲賀」をめざしてと題して講演いただきました。その後、松井健康福祉部長より、「高齢者の生きがいと地域づくりの推進」について学びました。

7/17

第2講座 経済講座で
アベノミクスを学習

73名が出席
共同福祉施設



岡地講師の話、熱心に聞きました。

岡地勝二龍谷大学名誉教授より、「アベノミクスと日本経済の行方」について教えていただきました。

サークルだより
明日香を歩く
5月7日、石舞台古墳や高松塚古墳などの奈良県明日香の道ウォーキングしました。

支部だより

甲南支部

高齢者の交通安全講習会

高齢者を対象とした「おたっしや広場」は、平成17年度から取り組まれてい

す。家の中にいて、人とあまり話し合う機会のない高齢者が世間話を話し合える場として、毎月一回開催。6月は、高齢者が日ごろから心がけている交通安全について、甲賀警察署の方からわかりやすく説明いただき、終始なごやかな雰囲気なかで、事故にあわない・起こさないという思いを再確認しました。

講習会が終わってからは、輪投げとボウリングにチャレンジしました。最初は少し戸惑われると実技に熱中される方もあり、楽しい時間を過ごしました。



初めての輪投げ体験

公園の清掃奉仕

新治延寿クラブは、子ども



区民の憩いの場所の清掃奉仕作業

もや若者が楽しむ公園の清掃奉仕作業を年三回行っています。

サツキの手入れ・除草作業は大変です。区民の「憩い」の場所の清掃は、普段話す機会の少ない我々にとつて、楽しい一時です。

ひと汗かいた休憩時には、お茶とお菓子で親睦の花が咲きます。

(新治延寿クラブ 岡崎幸男)

伝統ある創立記念総会を開催

梅雨の晴れ間の7月1日、愛柑クラブの総会を柑子公民館で開催しました。この総会は今年で第51回の歴史と伝統のある総会です。

平成25年度の事業計画・収支予算と役員構成・愛柑梅推進事業計画などすべて承認されました。

引き続き第二部では、日本舞踊「甲裕会」の皆さんによる「酒よ」「おてもやん」「黒田武士」などの艶やかな舞踊を楽しみ、マジ

ックショーの演技に大きな拍手を送りました。



記念総会

懇親会では、52名が参加、仲間と地域の「絆」を深めました。

(愛柑クラブ 大木敏矩)

マジャン大会で楽しみました

6月6日に新年度二回目の麻雀大会が開催されました。参加者は24名、全員揃ったところで抽選により組み合わせを決め、六卓でスタートしました。

最初の内は和気あいあい、そのうち負けないうように慎重になってきました。でも、健康麻雀ですから、勝って

も負けても終われば後に尾を引くことはありません。二回戦が終わった時点で昼になりました。

昼食を食べながら前半戦の反省や、近況報告などで和やかに過ごしました。

午後は12時半から後半戦がスタート。三回戦が終わった時点から上位入賞者が見えてきました。



女性の参加で和気あいあい

最後は接戦になり、逆転で優勝者が決まりました。成績は会報に掲載し、全員にお知らせします。

麻雀は頭の体操です。認知証にならないためにも、麻雀を楽しみたいと思っています。

(耕心敬友クラブ福本司)

信楽支部

奉仕と人権学習会

延寿会では、去る6月23日午前9時から約一時間、杉山児童公園と老人憩いの家の清掃奉仕を行いました。休憩後、午前10時から約一時間余り、甲賀市人権推進課の角出好隆先生をお招きし、人権学習会を開催しました。



スライドを交えたユーモラスなお話しに、会員一同熱心に耳を傾けました。

昼食後は秋の杉山文化祭を目ざして、五島先生の指導により「コケ玉」づくり挑戦、楽しく有意義な一日を過ごすことができました。(杉山延寿会 前田喜代司)

茶摘みで世代間交流

「木がくれて茶つみも聞かやほととぎす」芭蕉が詠んだこの句の地、ここ朝宮は「朝宮茶」の産地です。

この朝宮学区の朝宮小学校では、毎年5月下旬から6月上旬に校内にある六アールの「スクール茶園」で、子ども達と老人クラブ員、そしてその親達も交えて茶摘みをしています。

「どうして摘むの?」「こけたらあかんで」など子ども達からやさしい声をかけられ、これに応えて、老人クラブ員からは「二芯二葉」で摘むことなど、茶摘みのコツを教えるから楽しい茶摘みの日で



した。このお茶摘み体験は、茶園の管理も含めて、子ども達にお



茶づくりの技法を伝えるとともに、世代を越えてふれあうよい機会となっています。

世代間の関係が希薄になり、地域文化の衰退が心配されるなかで、高齢者と子ども達、そしてその親達の間も三代が「お茶摘み」を通じて交流が図られ、地域における支え合いやつながりの土壌づくりとなつていものと考えています。今後この活動を大切にしたいと思つていきます。(上朝宮万年青会 藤田穂津子)

親睦を深める

毎年一泊二日の旅行をしていましたが、今年は日帰

りで、36名の参加を得て、三谷温泉を訪ねました。

ホテルでは幼い家康公の人質緑りの銭ヶ料理を前にカラオケなどで大いに親睦を深めました。また、車中ではゲーム等で楽しい一時を過しました。なかでも他団体の方から「笑和会は良い名前」と声をかけられ、命名された先輩に改めて敬意を感じました。

我々の人生では正に「笑」は大へん大きな力であったと思います。今後もお互いの健康のため、笑顔一杯の老人クラブでありたいと思つていきます。(江田笑和会 上田純雄)



児童見守り活動

南部生粋会会員の協力を得て、スクールガードを始めて10年になります。



信楽小学校児童の登下校の時間に合せて、スクールガードを続けています。最近のマスコミで報じられているように、子ども達の通学路で痛ましい事件や事故が多発しており、心のいたむ思いの毎日です。地域の宝である子ども達を守るため、会員一同精神的に取り組んでいます。明るい町づくりと子ども達の安全・安心を守るため、これからも元気でいる限り頑張りたいと思つていきます。(南部生粋会 辻 昭)

水口支部

いきいき

100歳体操を実施

伴谷地区
山本昭夫

4月から広野台東・西老人クラブで、水口地域包括支援センターの指導で、筋力運動である「いきいき百歳体操」を始めました。



介護予防啓発健康体操の体験

活動開始から数ヶ月がたち、参加者からは、家にいる時は体を動かす事に心掛けたり、時には笑ったり、話したりして、体が少し軽くなった気がすると、うれしい言葉を頂いています。

今後は老人クラブのサロン活動の場で実施していく予定です。会員以外の高齢者の方にも、「いきいき百歳体操」を知って頂き、共に健康で明るい日々が送れるように取り組み、介護予防啓発運動を多くの皆様と共に広めていききたいと思っています。

「ぎずなクラブ」を通して見る

水口地区
今村茂樹

近年、水口地区老ク連では単位クラブの退会が相次ぎ、本年度の所属団体は五単クと「ぎずなクラブ」の六団体のみとなり、将に存亡の危機に瀕しています。「ぎずなクラブ」というのは多くの単クが脱会していく過程で、自分達は残留して活動を続けていきたいと望む会員が横断的に連携し結成されたグループです。

変則的ではありませんでしたが会則を改正して、これを並列した一つの単位クラブとして認めました。今ではクラブ独自の活動を進める傍らで、地区活動の強力な推進役となり、地区及び支部の奉仕作業や旅行にも多くの方が積極的に参加しておられる様子を見ると、今後の老人クラブの一つの在り方を示唆しているのではないかと感じています。老人クラブも発足してから一世代を経ました。世上では改憲論が声高に叫ばれています。社会情勢は大きく変わりましたし、構成員の私達も変貌し、マスコミから受ける情報量は膨大ですし、車の普及は行動半径を大きくしてくれました。私たちの生活はもはや地域に根ざす活動の枠内には納まり切らなくなってしまうよう思えるのです。

市役所周辺の 公共施設奉仕作業

支部園芸部長
山田由男



6月24日午前8時より、80余名の参加を得、水口支部環境園芸部の公共施設清掃奉仕作業を行いました。

早朝より、草刈機・バリカン等剪定道具を手に、皆さん手慣れた様子でテキパキとこなし、広い市役所周辺の公共施設がみるみるう

ちに美しい環境に生まれ変わりました。



草が刈られ美しい環境に

私達は地域の担い手として、市民が利用する公共施設が少しでも美しく、気持ちよく利用できるようと、そんな気持ちで奉仕作業に汗を流した一日でした。

みんな集まれ

青少年のひろばに参加して

柏木地区
山田

7月14日、柏木青少年育成会・かしわぎ自治振興会主催で、「みんな集まれ！青少年のひろば2013」が開催され、老人クラブにも協力依頼がありましたので参加しました。

当日、子ども達はグループに分かれ、四つのコーナーを30分ごとに入れ替わり廻ります。その中の「昔の遊びいろいろ」のコーナー

を老人クラブと日赤奉仕団が担当しました。

簡単なもので、コマ・ケン玉・羽子板・ダルマ落とし・折り紙等を準備したものの、現代っ子が遊んでくれるか心配でしたが、それぞれに興味を示し、熱心に遊んでくれました。

はじめてコマを手にした子が、何度もチャレンジし最後に廻った時の喜ぶ笑顔が印象的でした。子ども達とふれあうことができ、当初の目的に少し近づけたのではと思います。これを機に「地域の子どもは地域で守る」ことに老人の私達が心がけていきたいと思えます。



コマ廻った！

甲賀支部

文化活動発表会

5月24日、甲賀町農村環境改善センターで「文化活動発表会」を開催しました。

これは、自らが心身ともに充実した豊かな日々を送ることはもとより、地域を豊かにする活動にもご尽力されている会員方々の活躍の一端をご披露頂き、私達一人でも多く、そうした活動に参画できる契機になればと願って、昨年度に引き続き開催したものです。



すいりょう節保存会の皆さん

「甲賀民謡友の会」・「甲賀町すいりょう節保存会」の三グループに出演を依頼しました。

いずれも、素晴らしい演技に感動しました。

事故に遭わない 起こさない

*交通安全講習会

6月7日、単位クラブ役員など180余名の参加を頂き、かふか生涯学習館で交通安全講習会を開催しました。

好評により、昨年に引き続き、甲賀警察署交通課警察官と「滋賀県警ふれあいチーム」による講演を依頼しました。

講演は、近年高齢者による交通事故が多発している状況と対応策等について、やさしく、解り易い内容でした。

また、「ふれあいチーム」によるコント形式での軽妙な寸劇により、具体的な事故防止策や日常生活で気付かないところに潜む危険事



県警ふれあいチームによる講演

例が示され、安全意識の高揚と安全の知識を深めることができました。

「在宅福祉を支える 友愛活動」推進研修

6月7日、かふか生涯学習館において「女性部長・友愛協力員合同研修会」を開催しました。

社会の高齢化と共に、高齢者を支える福祉制度やサービスは大きく発展してきましたが、私たちが心豊かに生活するために大切なことは、人と人の繋がりがや心のふれあいが実感できることです。

そこで、甲賀市社会福祉

協議会甲賀地域福祉活動センター支援のもと、高齢者が互いに支え合う友愛活動に取り組み、「友愛チーム」の活動支援に努めることの重要性を感じています。

そこで「ふれあい支え合う友愛活動」のより一層の推進を図ろうとして研修会を開催したものです。



運動器の機能向上で「いきいきライフ」

当日の講演は、滋賀県健康づくり財団の健康運動指導士、中原今日子氏に依頼し、「介護予防で、はつらつ生活」、「運動器の機能向上で、いきいきライフ」と題して、「元気ハッラツ」、「明るく・愉快」な講演内容に、明日を生きる新たなパワーを頂きました。

介護予防活動支援事業 の独自取り組みで継続

介護予防活動支援事業（県補助事業）は、介護予防活動の普及と老人クラブ活動の活性化を図ることを目的としたものですが、本年度は、甲賀地域社会福祉協議会のご支援のもと、甲賀支部独自の継続事業として取り組みことになりました。



手製輪投げの作製にも熱が

土山支部

子ども達の成長を願いつつ

去る5月13日、土山小学校とのふれあい事業として、五年生との田植え体験学習に、10名のクラブ員が参加しました。

美しく整地された田圃に
一列に並んで、全員が素足
で泥まみれになり、一株一
株を丁寧に植え付け、植え
終った時の感激と喜びはひ



ロープの目印に沿って、サア始めよう

とおおでした。

担任の先生も、生徒と一
緒にどろんこになり体験さ
れ、この様な和やかな学習
風景を見て、我々も何か大

体力維持は普段から



タオルを使って ストレッチ!

身体を動かすこと、歩
くこと、仲間と共にスポ
ーツや会話をすることは
脳の活性化に良いと思い
ます。

そこで土山支部は、健
康運動指導士の中原今日
子先生を招き、「タオル
を使って軽体操」を教え
ていただきました。

心身の機能や生活機能
の低下を予防するための
研修会でした。

切なものを得た感じがしま
した。
植え付けられた苗が稲に
生長し、立派な米が実る事
と共に、将来地域を担うべ
く、土山小学校の生徒の皆
様の一層の成長を願うもの
です。

(土山地区 水野 平)

これからの 老人クラブ

私達の山内では、クラブ
に入会する人が段々と少な
くなり、役員構成に苦勞す
る集落が増えてきました。
なぜだろう、と話し合い
をしますが、結論はです、
妙案もでないのです。



戦後の民間の団体の歴史
を調べると、活発な活動で
社会に認められていた、青

年団・婦人会が自然消滅し
た原因を知ることが、現代
の老人クラブの発展には必
要ではないかと感じられる
のです。

戦前の精神を受け継いだ
青年団・婦人会が高度経済
成長期に消滅したのは組織
がマンネリ化し、社会の変
化について行けなかつた事
と、上部組織が肥大化して
末端組織が弱体化した事が
消滅を早めたと言われてい
ます。

今後、身近な地域のクラ
ブ活動を活発にして、地域
社会に認められる、地域に
根ざしたクラブになり、誰
もが入りたくなるクラブを
目指したいと努力しています。

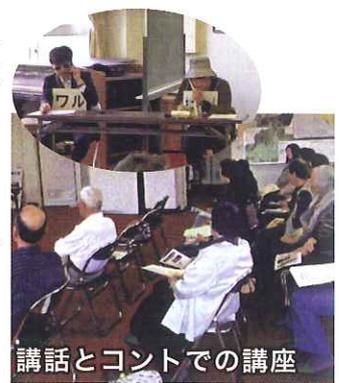
(山内地区 鍋家渡支雄)

振り込め詐欺に 充分注意を

5月18日、鮎河地域市民
センターで振り込め詐欺の
講座があり、会員18名が参
加しました。

甲賀警察署の方から話を
聞き、おばあさんと息子に

なつてのコントもしていた
できました。



講話とコントでの講座

実際にこの田舎でも、息
子を名のり、ひどいせきを
し、携帯電話を変え、投資
に失敗したとの電話がかか
つた人の話を聞き、皆一同
がびつくり。これからも、
電話がかかった場合は、充
分注意するように話されま
した。短時間でしたが、色々
と参考になりました。

(東野福寿会 小倉)

編集後記

会名称を改正し、新しい
時代に即した、また時代を
切り開く活動に取り組むこ
ととしました。その一環と
して広報紙も全ページカラ
ー印刷に変更。親しまれ、
読まれる広報紙をめざしま
す。

(広報部一同)